

熊本県内経済情勢報告

令和 7 年 7 月

財務省九州財務局



九州財務局に関する情報はこちら！！



ホームページ



X(旧Twitter)



Facebook

(問い合わせ先)

財務省九州財務局経済調査課

TEL 096-353-6351 (代表)

ホームページアドレス

<https://lfb.mof.go.jp/kyusyu/>

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している」

項 目	前回（7年4月判断）	今回（7年7月判断）	前回比較
総括判断	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している	→

（注）7年7月判断は、前回7年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、持ち直している。

【各項目の判断】

項 目	前回（7年4月判断）	今回（7年7月判断）	前回比較
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している	→
生産活動	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	→
設備投資	6年度は減少見込み	7年度は減少見込み	→
企業収益	6年度は増益見込み	7年度は増益見込み	→
住宅建設	持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直しのテンポが緩やかになっている	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している」

百貨店・スーパー販売は、緩やかに回復している。コンビニエンスストア販売は、緩やかに持ち直している。ドラッグストア販売は、堅調である。ホームセンター販売は、横ばいの状況にある。家電大型専門店販売は、持ち直しつつある。乗用車の新車販売は、持ち直している。宿泊は、緩やかに回復している。

(主なヒアリング結果)

- 物価高の影響で消費者の買い控えがみられており、催事以外の通常の売場は苦戦している。また、インバウンドについては、高額品から化粧品など雑貨へのシフトがみられる。(百貨店・スーパー)
- 食料品の売上増加は米の価格高騰が大きく影響している。卵も価格が上昇しているものの、必需品であるため購入点数は落ちていない。野菜は相場安となっていることからセット販売などに取り組んだところ、購入点数及び売上げが前年を上回った。(百貨店・スーパー)
- 若者やファミリー層を中心に、来店客数は順調に増加しており、売上高も来店客数以上の伸びとなっている。(大型商業施設)
- クーポン発行などの販売促進施策の効果や、天候が良く人流が活発であったことから、客数及び客単価が伸びており売上高は前年を上回っている。(コンビニエンスストア)
- 備蓄米の需要は大きく、品出しするとすぐに完売する状況であり、値ごろ感のあるカリフォルニア米や台湾米の売上げも好調である。一方で、米の価格高騰の影響により消費者の節約意識が働いており、菓子等のし好品の売上げは伸びていない。(ドラッグストア)
- ペット関連が好調を維持している一方で、インテリアやリビング関係は弱く、競合他店に顧客が流れているのではないかとみている。(ホームセンター)
- 電気代高騰を意識して、エアコンなどは省エネ性能モデルが好調であるものの、老朽化での買い替えがメインとなっている。(家電大型専門店)
- 受注停止と追加受注枠が設けられたことによる受注再開を繰り返している。追加の受注枠はすぐに埋まるため、自動車に対する購買意欲は引き続き高いと思われる。(自動車販売店)
- 香港からのインバウンド客が減少しているものの、他の国で補われていることから、インバウンド客全体は増えている。(公的機関)
- 国内客は例年並みの状況で推移している。(宿泊業界団体)
- 値上げに所得が追いついていないため、安価な店に流れている。(飲食業界団体)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直している」

汎用・生産用機械は、半導体製造装置を中心に高水準を維持している。食料品等は、横ばいの状況にある。電子部品・デバイスは、一部に弱さがみられるものの、高付加価値製品を中心に高水準を維持している。化学は、横ばいの状況にある。

- 引き続き高い水準の生産や売上げを維持しており、受注環境も良好なまま推移している。半導体製造装置は、AI 関連を中心に受注が回復し、好調を維持している。(汎用・生産用機械)
- 外食産業向け、量販店向けともに堅調に推移している。(食料品等)
- スマートフォン市場の緩やかな回復基調は継続している。高付加価値化に伴う単価上昇及び需要増加が継続しており、生産数量及び生産額は前年を上回っている。(電子部品・デバイス)

■ 雇用情勢 「持ち直している」

有効求人倍率は、このところ横ばいの状況にある。新規求人数は、前年を下回っている。企業の人手不足感は、高い状況が続いている。

- 前年大量求人が出た半導体関連で人員が確保できたことなどにより求人数が減少しているが、各産業で人手不足は継続しており、引き続き堅調に推移している。(公的機関)
- 採用は応募がないため、派遣で対応している。(食料品)
- 以前は店舗に1人店長を配置していたが、今は店長1人で2、3店舗を見ている状況。パート社員も集まりにくく、外国人技能実習生を受け入れている。(飲食)
- 運転手、事務職ともに不足気味。ハローワークに求人を出しているものの、なかなか集まらない。(運輸・郵便)

- 設備投資 「7年度は減少見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年4-6月期
 - 製造業では減少見込み、非製造業では増加見込みとなっている。
- 企業収益 「7年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年4-6月期
 - 製造業では増益見込み、非製造業では減益見込みとなっている。
- 住宅建設 「持ち直しのテンポが緩やかになっている」
 - 新設住宅着工戸数(7年3~5月)をみると、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年を上回っている。

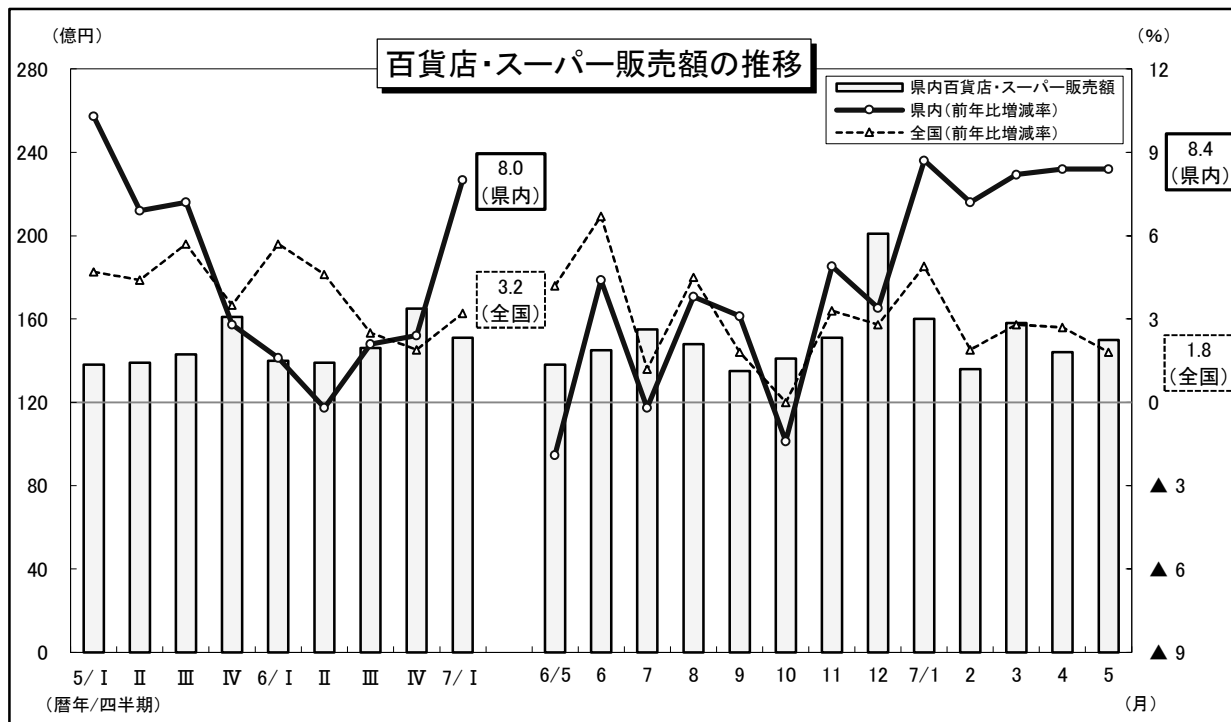
【その他の項目】

- 企業の景況感 「現状判断は『下降』超」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年4-6月期
 - 7年4~6月期の景況判断BSIをみると、全産業では「下降」超となっている。
先行き(全産業)をみると、7年7~9月期は「上昇」超の見通しとなっている。
- 公共事業
 - 公共工事請負金額(7年4~6月累計)をみると、前年度を上回っている。
- 倒産
 - 企業倒産(7年4~6月期)は、件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回っている。

【参 考 資 料】

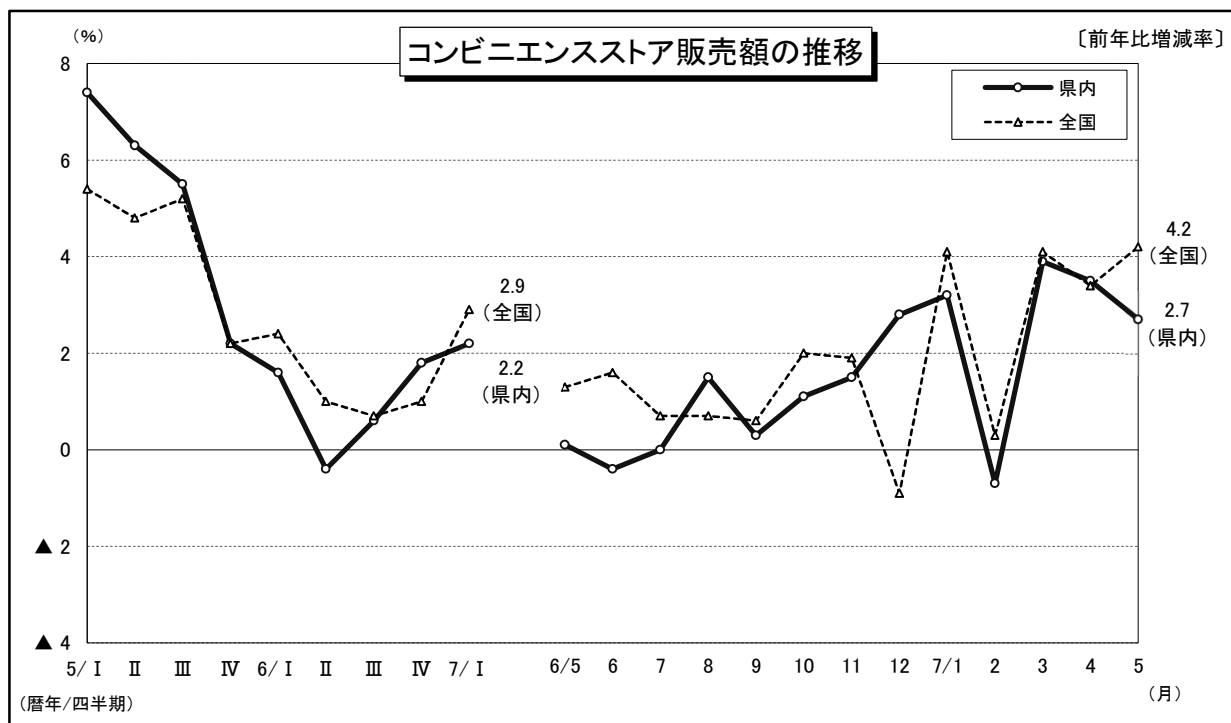
1. 個 人 消 費	参－1
2. 生 産 活 動	参－4
3. 雇 用 情 勢	参－5
4. 設 備 投 資	参－6
5. 企 業 収 益	参－6
6. 住 宅 建 設	参－7
7. 企 業 の 景 況 感	参－8
8. 公 共 事 業	参－9
9. 倒 産	参－10

1. 個人消費



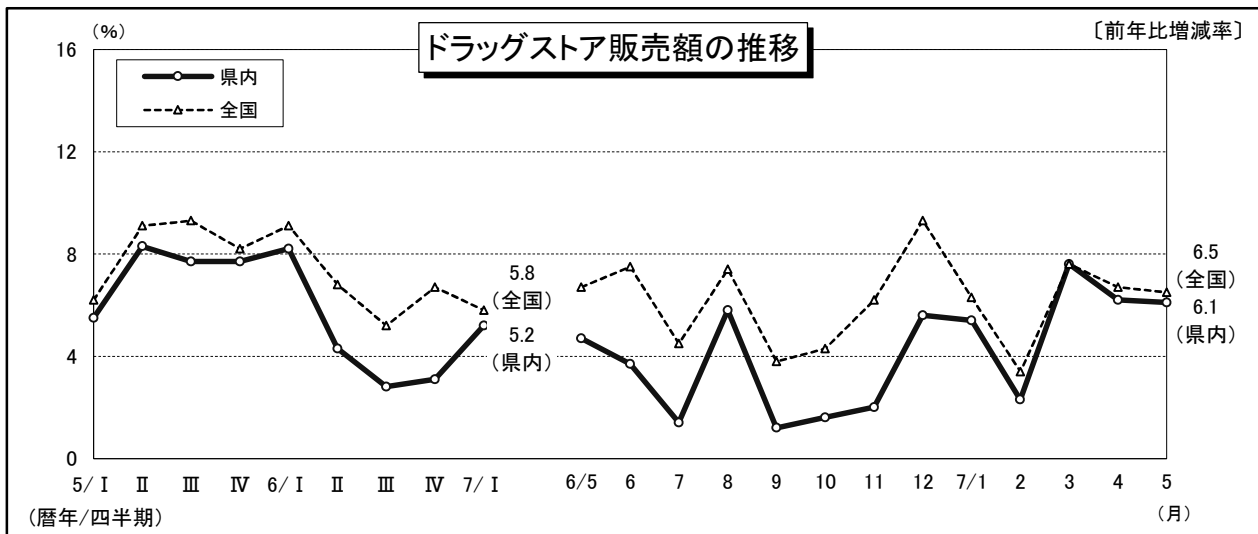
(注) 全店ベース。四半期の棒グラフは月平均。

[資料: 経済産業省]



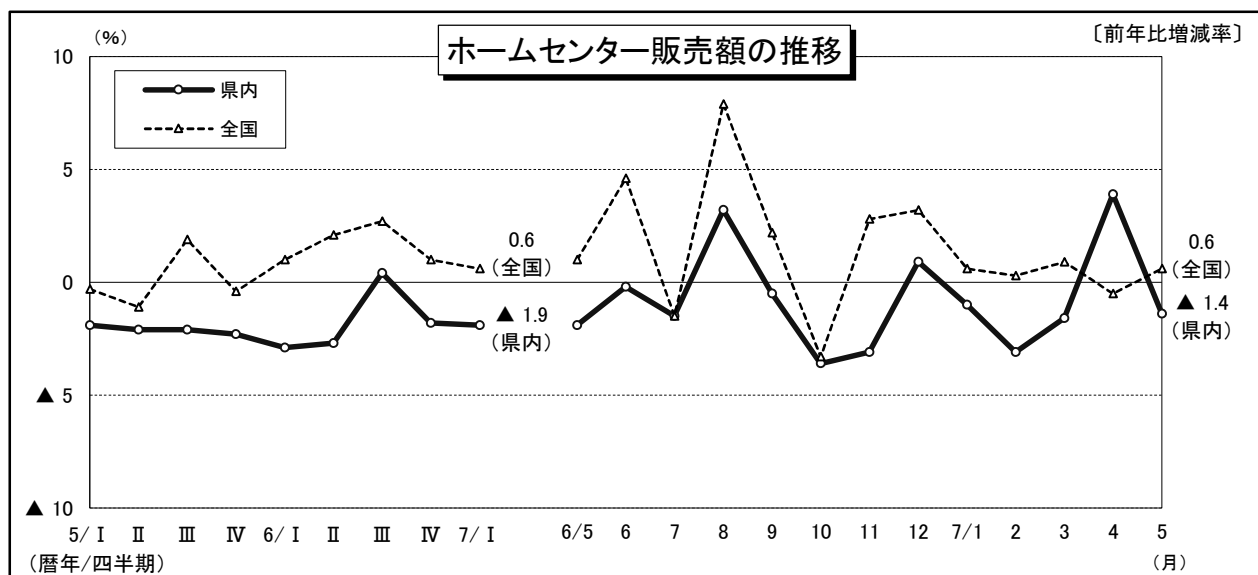
(注) 全店ベース。

[資料: 経済産業省]



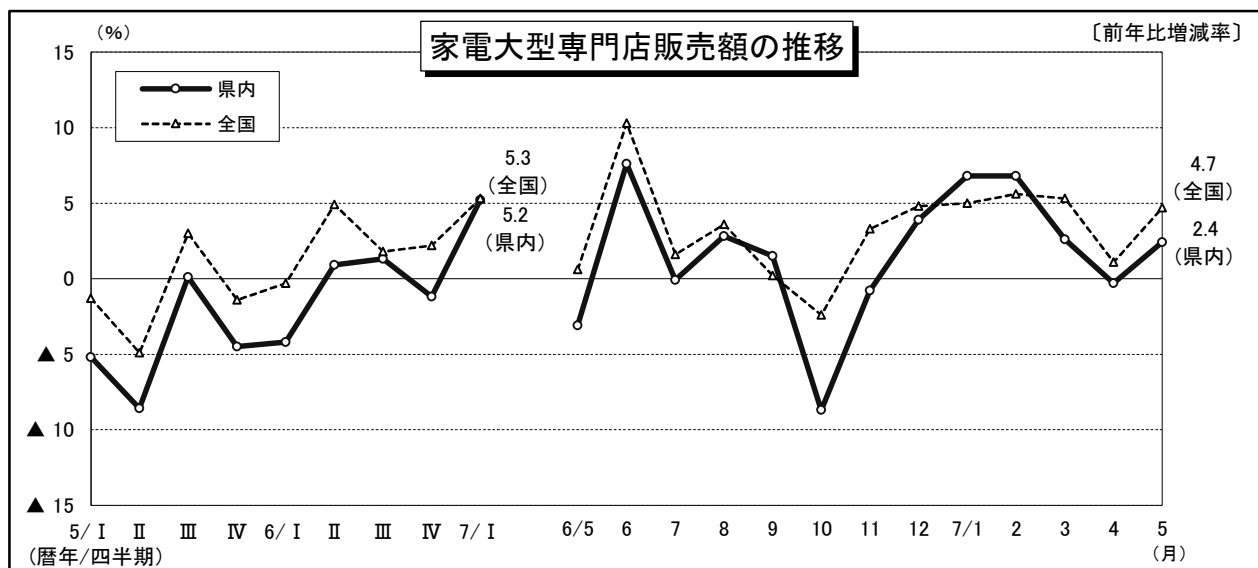
(注) 全店ベース。

〔資料: 経済産業省〕



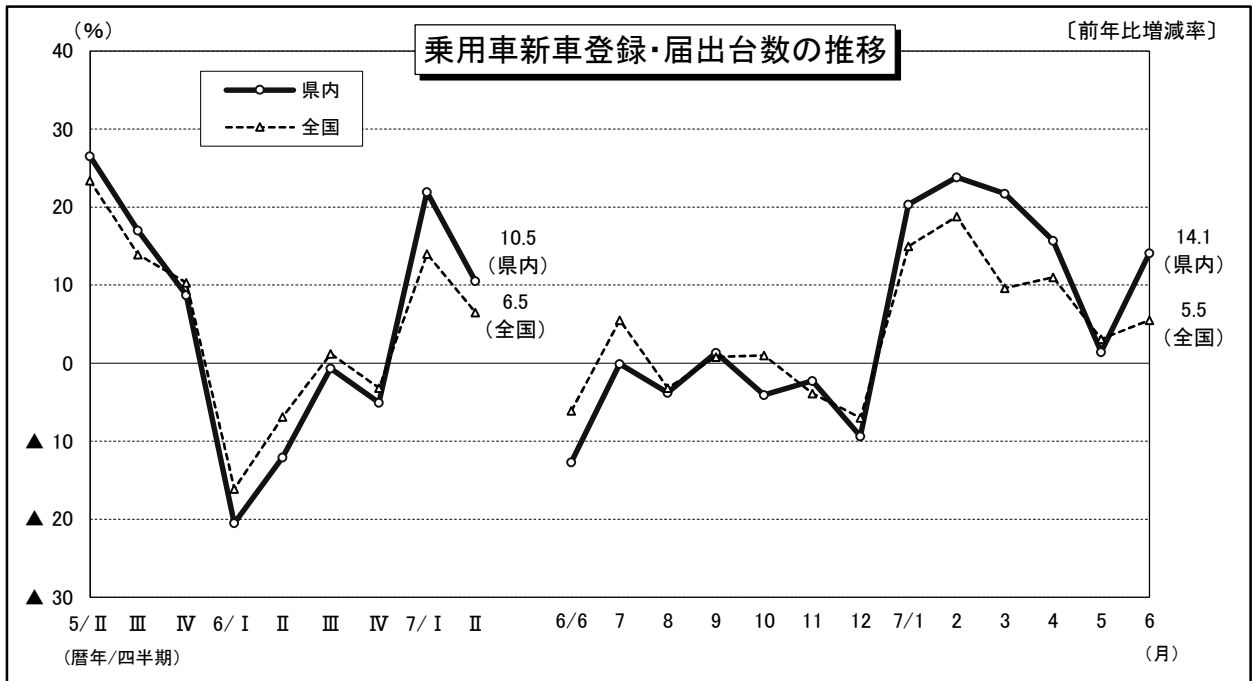
(注) 全店ベース。

〔資料: 経済産業省〕

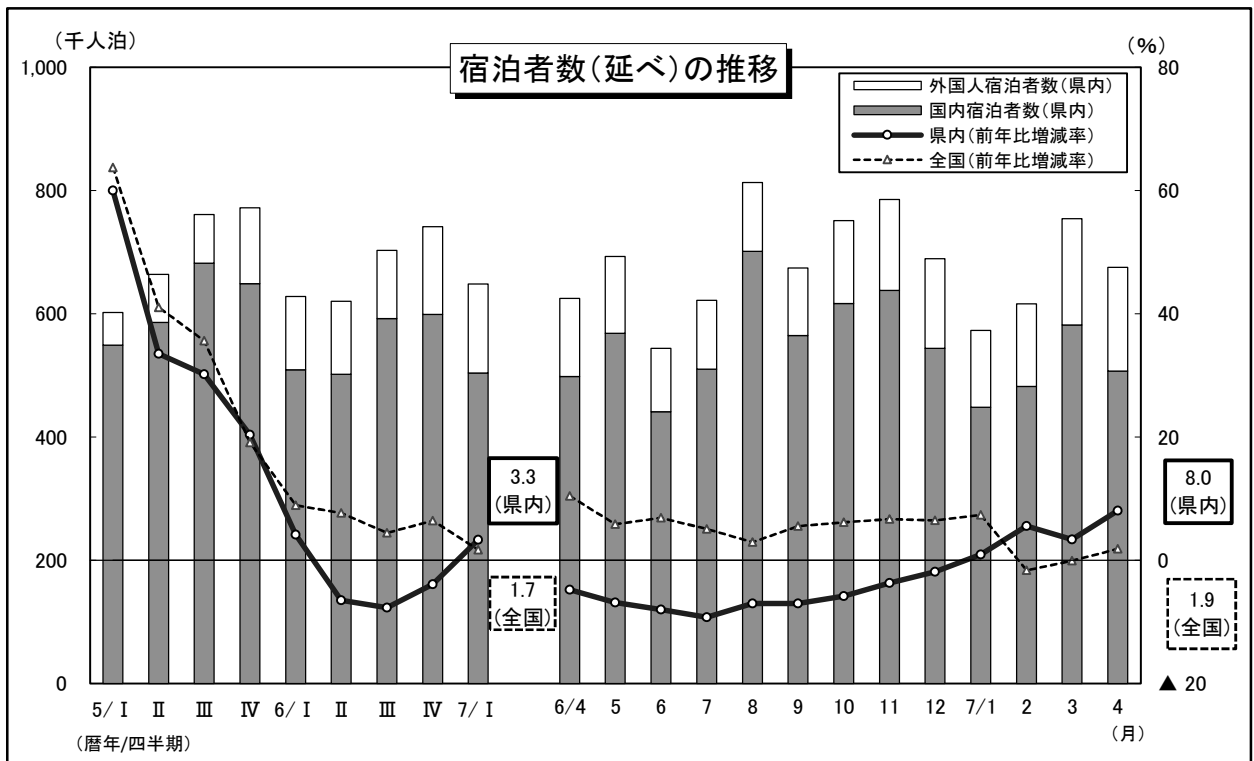


(注) 全店ベース。

〔資料: 経済産業省〕



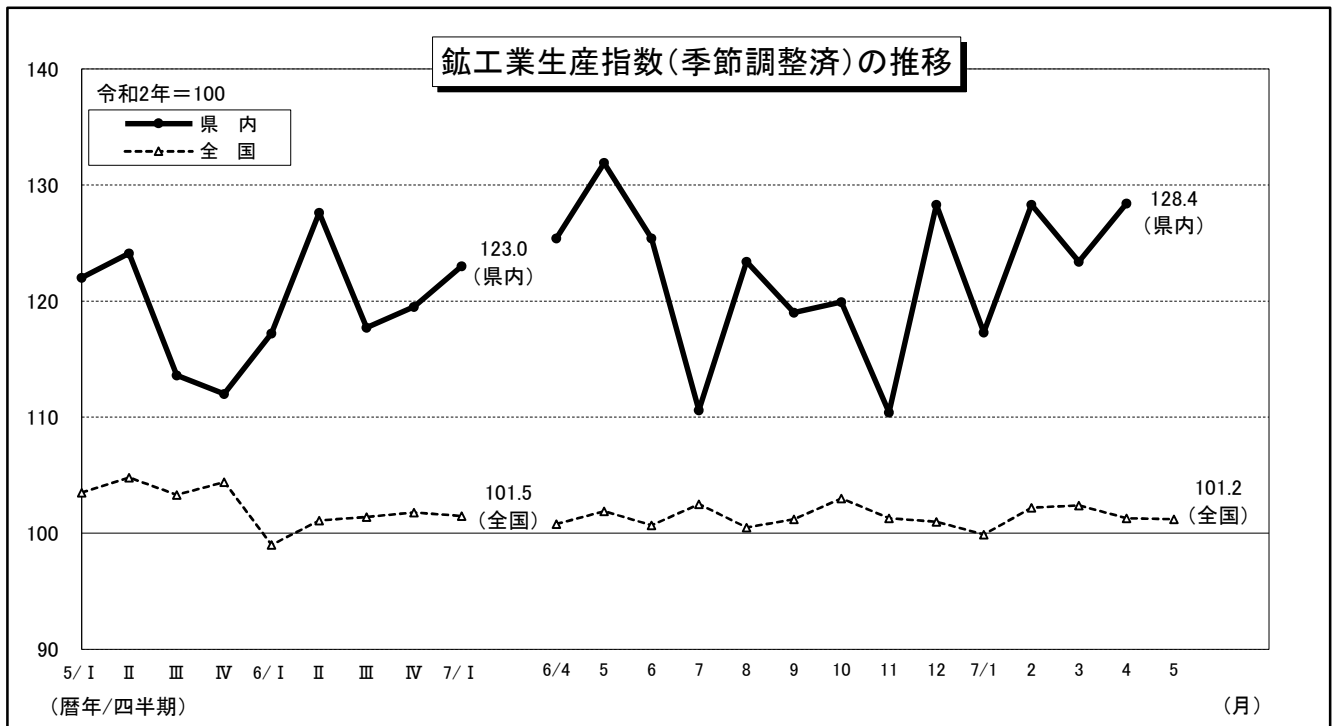
〔資料：日本自動車販売協会連合会、熊本運輸支局及び全国軽自動車協会連合会〕



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

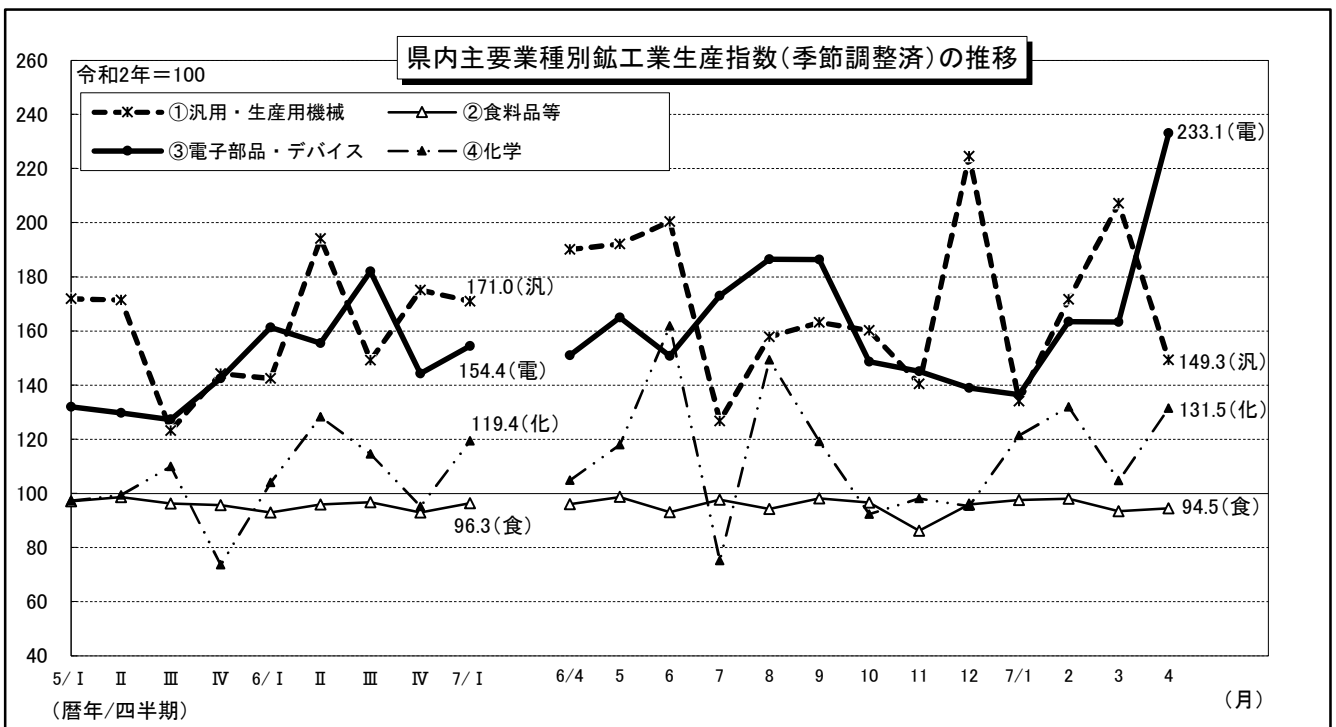
〔資料：観光庁〕

2. 生産活動



(注) 県内の7年4月は速報値。

[資料: 経済産業省、熊本県]

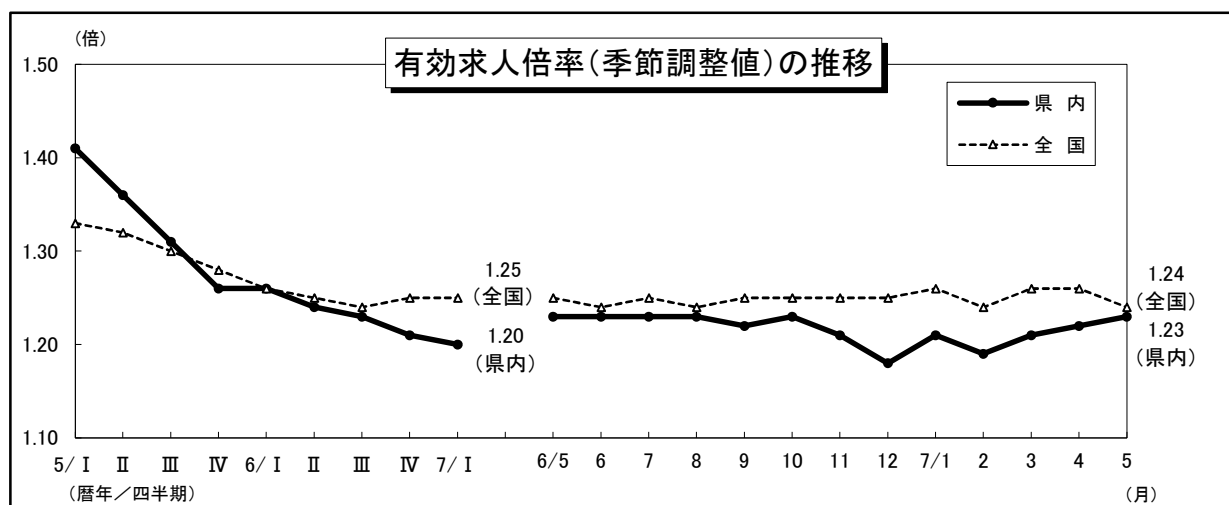


(注) 1. 7年4月は速報値。

2. ○数字は、県内におけるシェア順位。

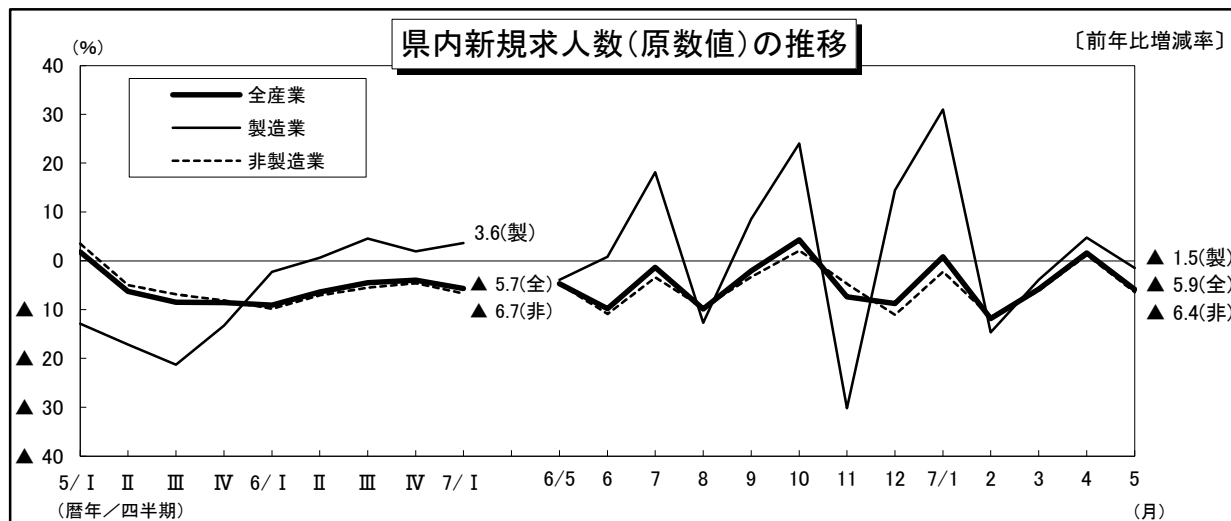
[資料: 熊本県]

3. 雇用情勢



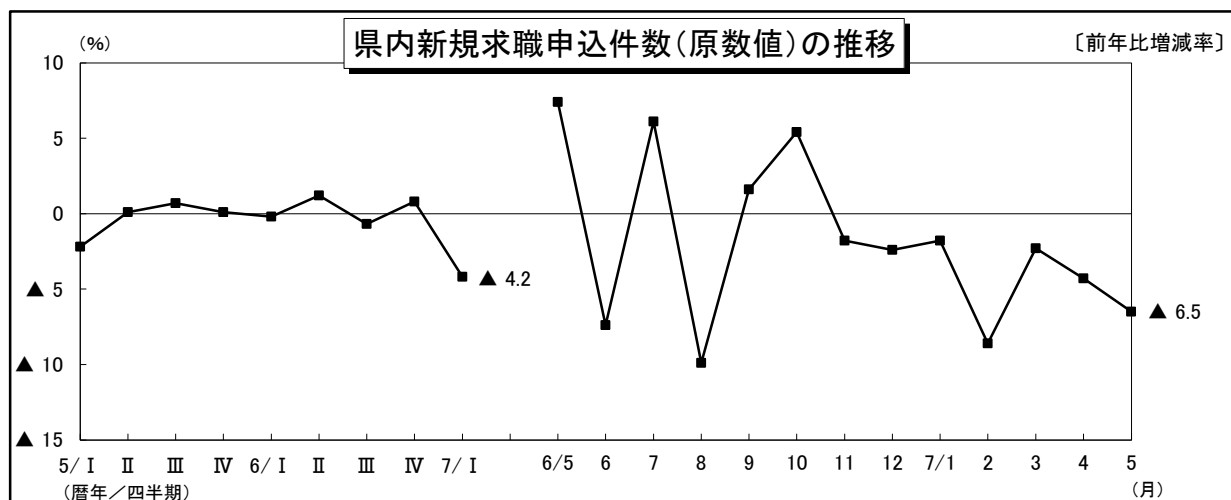
(注) パートを含む。

[資料: 厚生労働省]



(注) パートを含む。

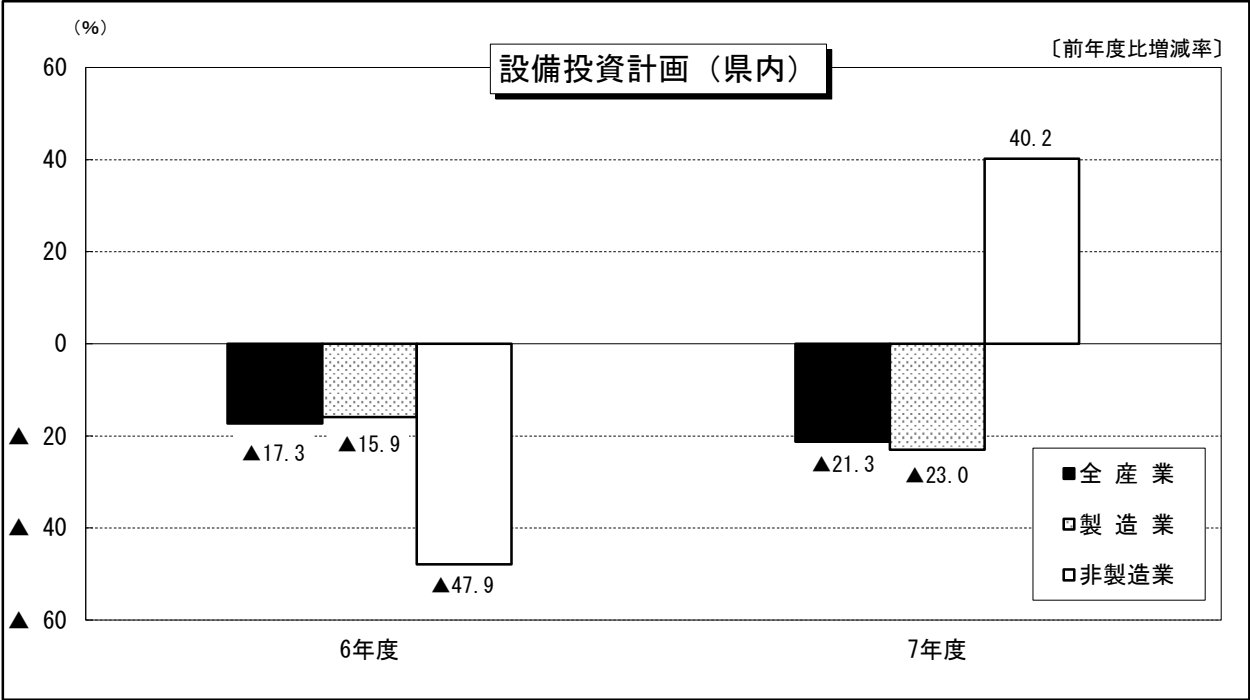
[資料: 厚生労働省、熊本労働局]



(注) パートを含む。

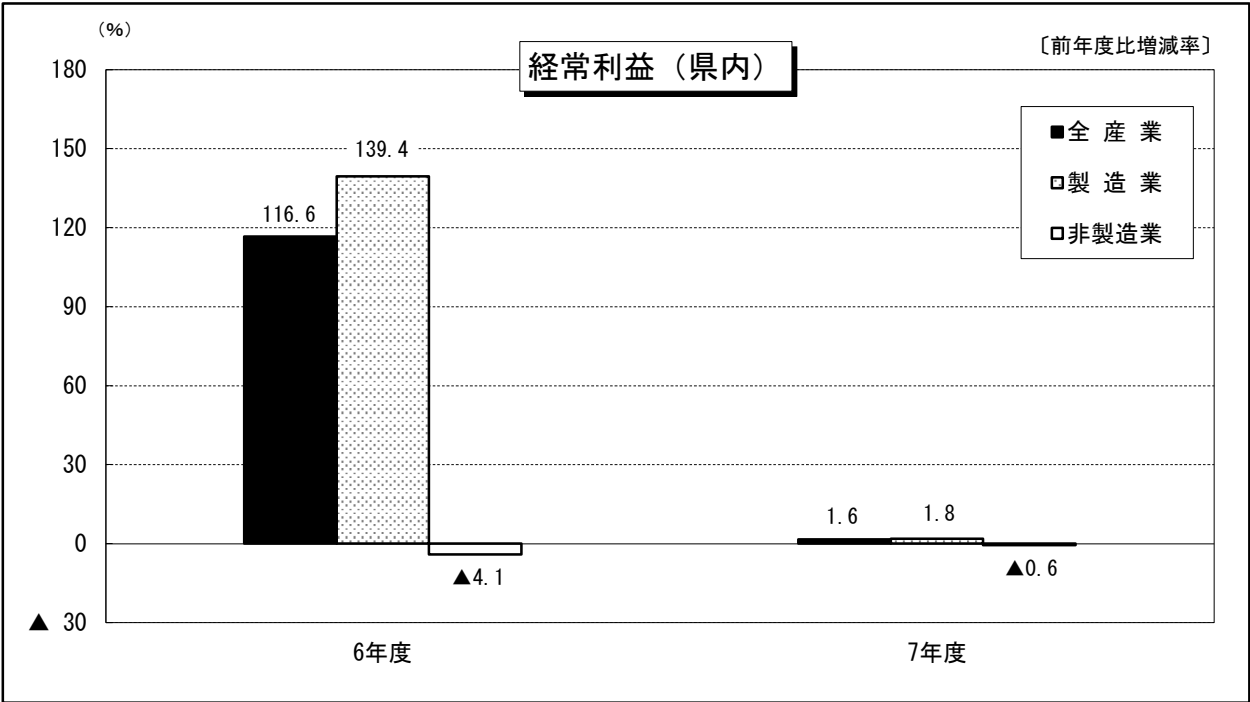
[資料: 厚生労働省]

4. 設備投資



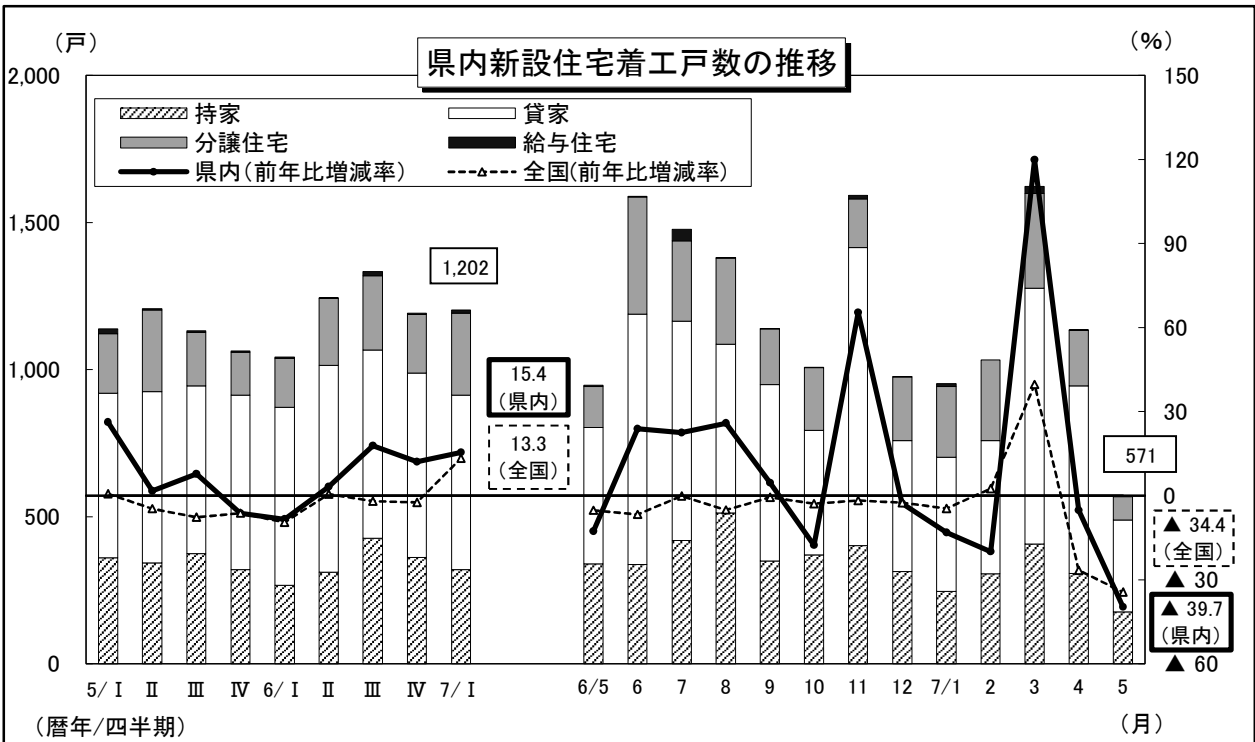
〔資料：九州財務局（法人企業景気予測調査）〕

5. 企業収益



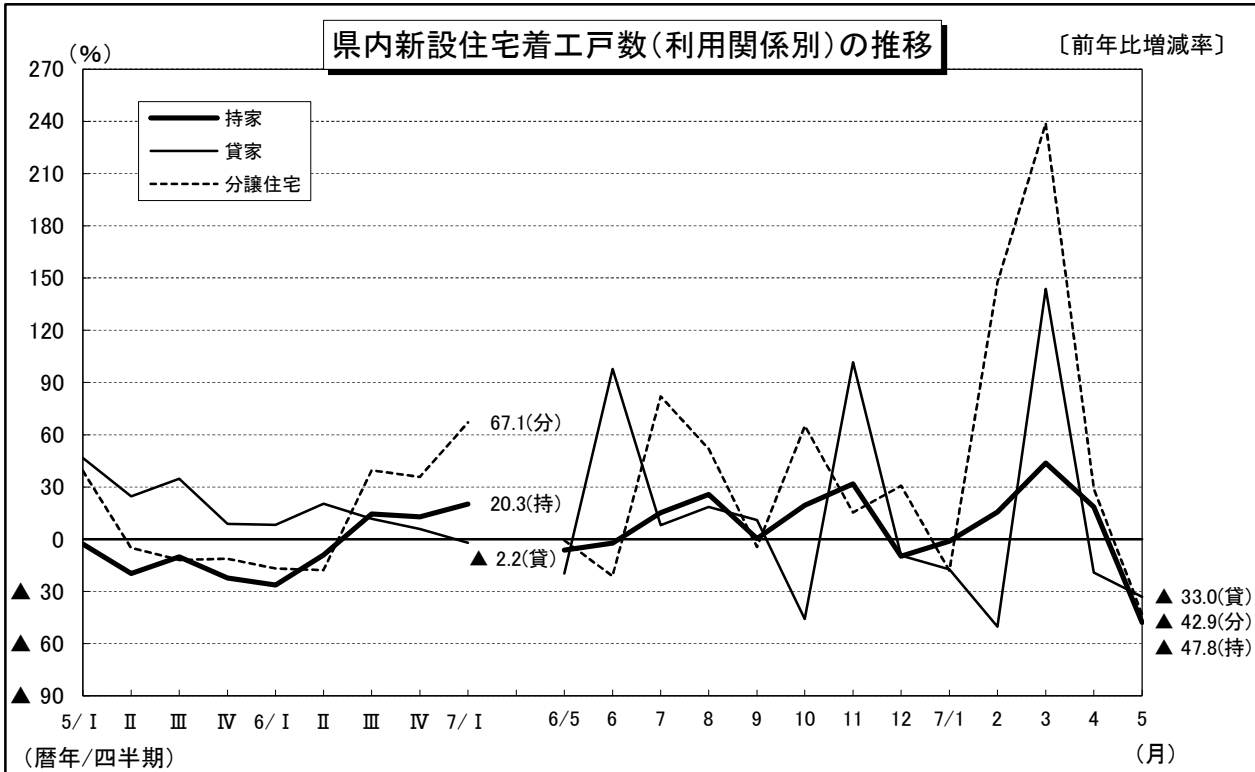
〔資料：九州財務局（法人企業景気予測調査）〕

6. 住宅建設



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

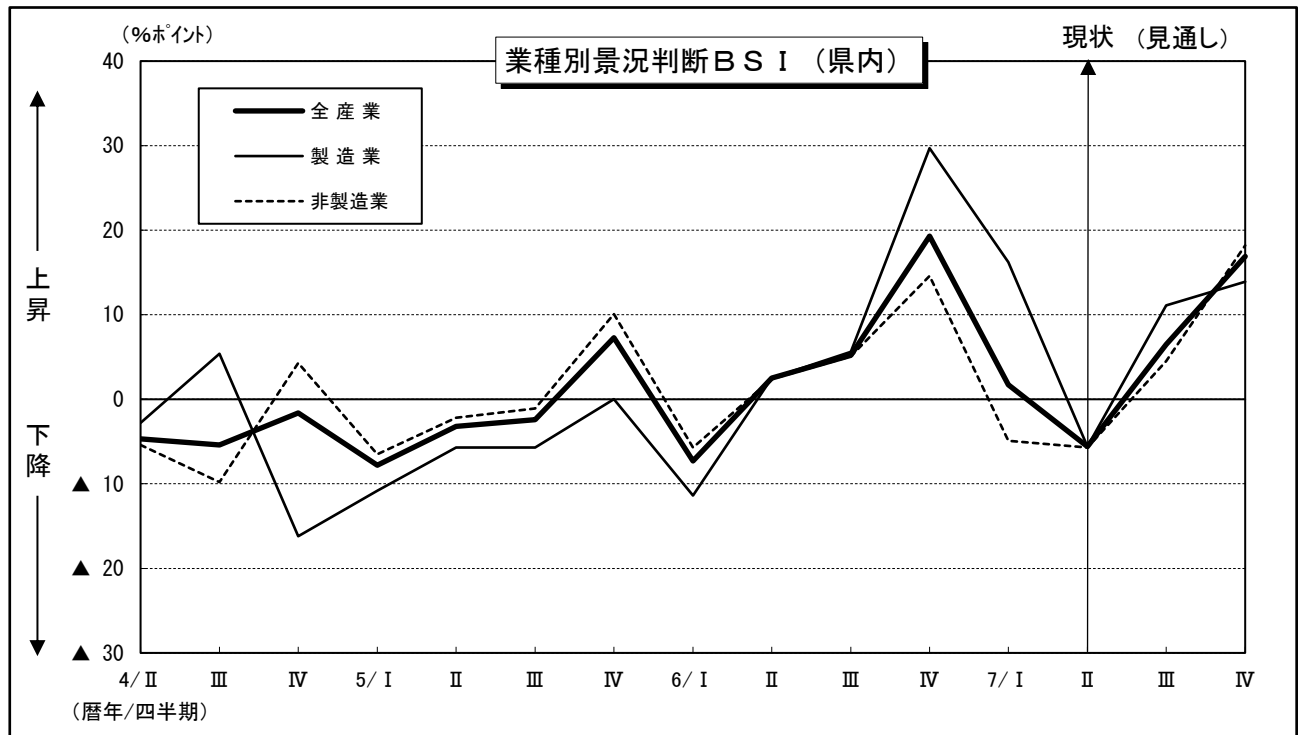
[資料: 国土交通省]



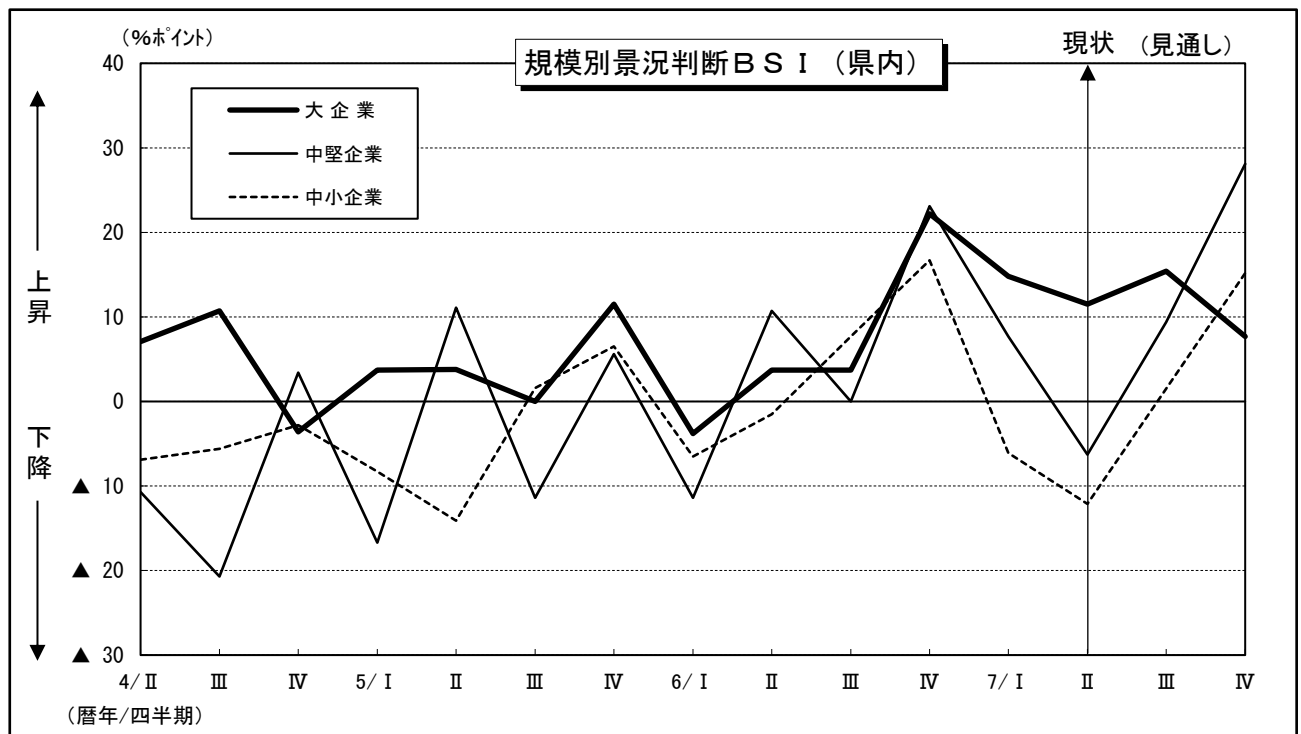
(注) 給与住宅については、些少であるため表記していない。

[資料: 国土交通省]

7. 企業の景況感

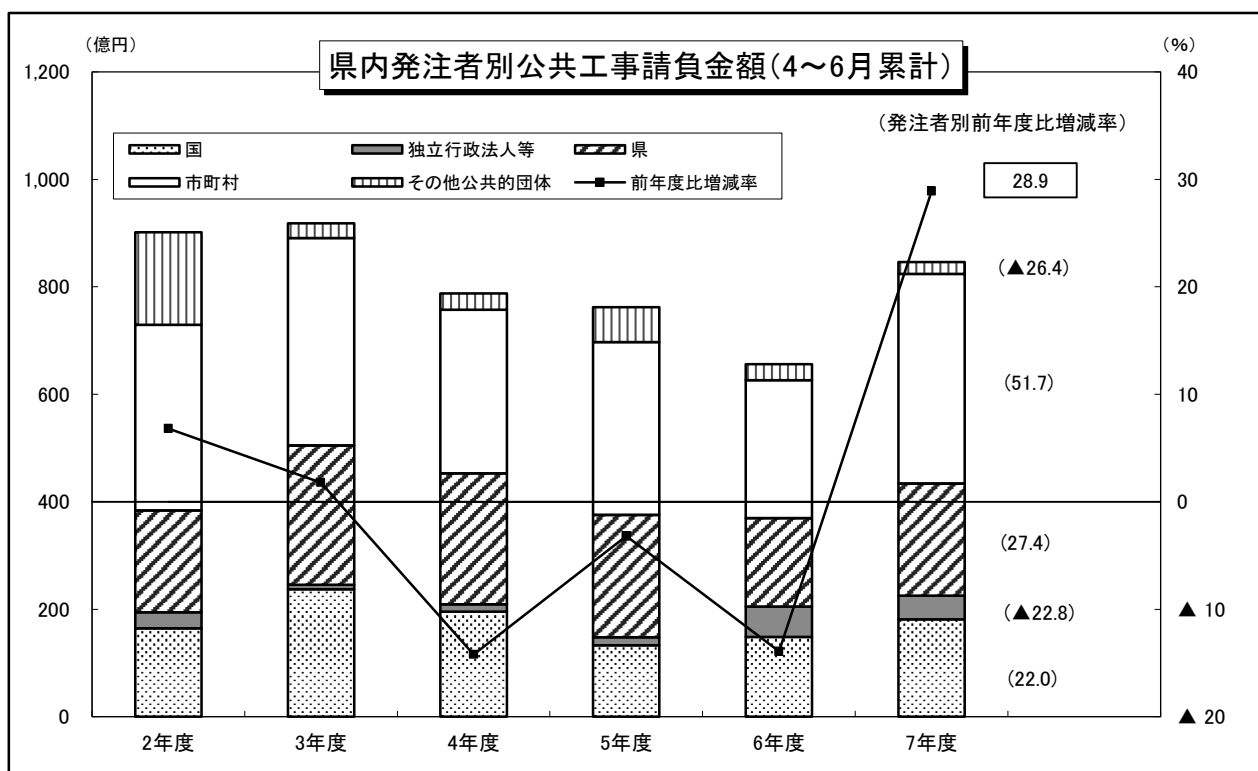


[資料：九州財務局（法人企業景気予測調査）]

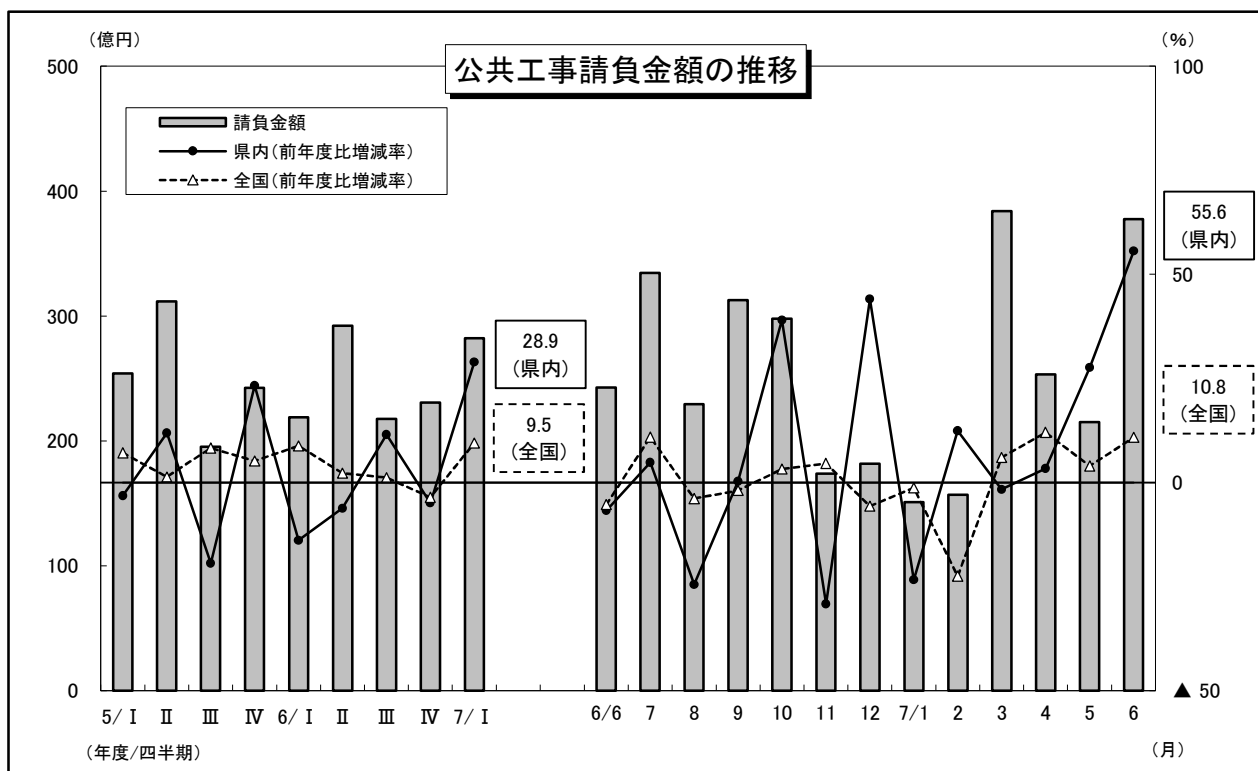


[資料：九州財務局（法人企業景気予測調査）]

8. 公共事業



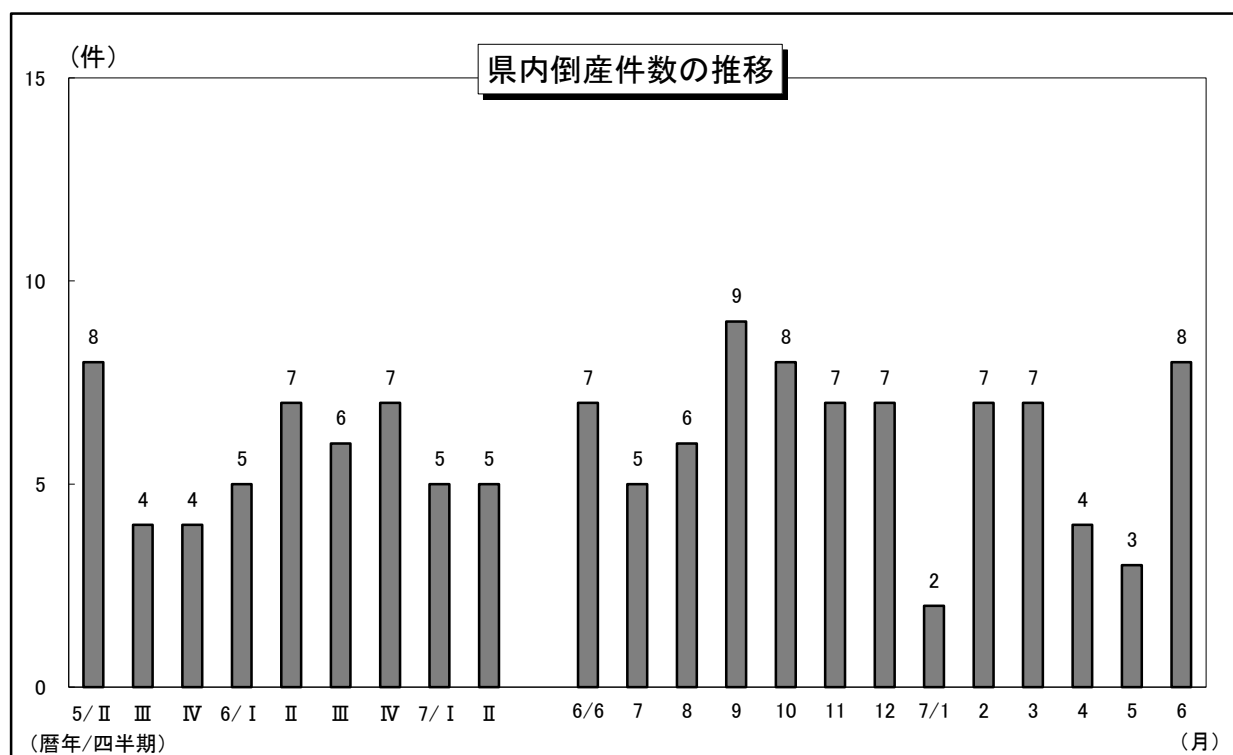
[資料:北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)]



(注)四半期の棒グラフは月平均。

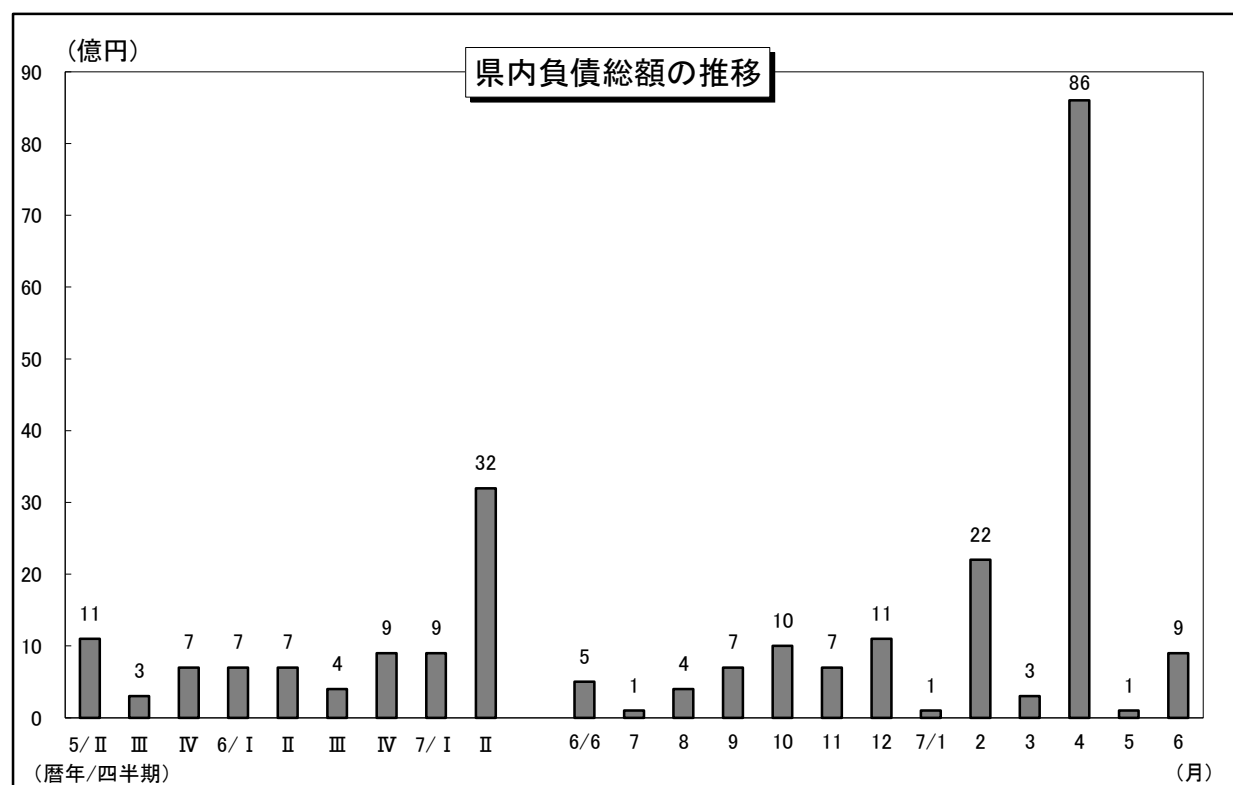
[資料:北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)]

9. 倒 産



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

[資料: 東京商エリサーチ]



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

[資料: 東京商エリサーチ]